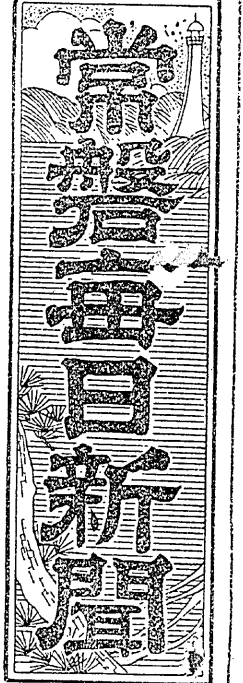


刊夕 日六十月七



定価 一月五拾五圓 郵税五圓
 原稿五圓以上 一行五拾五圓
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞社
 電話 六三〇番

教養と風雅

津坂 貞吾

人の教養は自然のなから得て来ることが多い。日月、魚鳥、草木の營みを見ると、そこに一切の人間の暗示がひそんでゐる。よろでのものは、すべてがつしりと組み合ひ、もたれ合つれ機構を作つてゐるので、このことが分つて来ると、人間の生活に愉びが来る。和歌も、俳諧もこの愉びを下心に持つた詠嘆の聲、頌榮の言葉であるので、古人では人麿、西行、芭蕉、良寛などは、みな教養の理想世界であるところの、聖なる位置を占めた人である。

教養とはたしなみといふことである。たしなみはまた日本の傳統の風雅といふことである。風雅といふものは、道徳、宗教、哲學な

靴の注文は夕方に限る朝は何人の足も少なくなつて居るから

ノット

×

いま日本は新道徳、新宗教、新哲學の濼潮とした興隆期である、これ等の新しいものが、そのなまなましい稜骨を、こなこなに砕いて、さうしてそれが、人々の日常生活のなかに空氣の如く漂つて来なければ、

明日の献立

【朝】味噌汁―ねぎ

小付 お豆腐豆

【晝】おさしみ―鱈

【晚】牛肉醬油あぶりやき

本當の文化となつたものは言へない。

新日本の風雅はいま尖端と言はれてゐる、科學や哲學や宗教や道徳が日本民族の日常生活のなかに、たとへば薫風の如く入りこんでそれが日常茶飯事となつて來て、はじめて現代の新風雅がうち建てられたものといふことが出来る。



童謡

◇ 螢と蛙

日高 紅楓

蛙が河邊で

人待ち顔
 もううすぐらい
 日ぐれです
 ホテルはもしく〜と
 いひました
 かへるはつんぼで
 知らぬ顔

子供の新聞

金子ヒサエ

毎晩六時二十分
 子供の新聞うれしいな
 やさしいをぢさんをばさ
 んが

広い世界のめづらしい
 いろんなく出来ごとを
 いつもお話しなさいませ
 私はいつもささますの
 をぢさんをばさんありが
 たう

俳句

高田 里詩

爽竹桃の花の盛りや梅雨の空
 燕二羽舞ひあがりたる青田哉
 蚊の聲や壁土落ちし古廟
 旅愁をぞろ大きな蚊張に
 入りにけり
 草の根に螢落ち來ぬ光りもつ
 馬鈴薯の一吠どさと土間に置く
 山藜を草荷につけて戻りけり

是非!

御融通には御利用下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番

外科全般

特ニ内臓外科及び内、外、兩域疾患

醫學博士 渡部 義夫

小兒科、内科 女醫 渡部 さい子

平町役場前 電話二七七番

渡部外科

入院應需 診療午前八時ヨリ午後九時マデ

みるからに!

涼しそうな……夏季の必需品

氷水屋のれん

一枚0,20ヨリ

一般家庭向カーテン

各種取揃へました是非お求め下さい

スガノヤ提灯店

平四 電九五番

新特約三菱ノ……

菊菱號自轉 (全部マーク入) 實用堅牢車

平局御用 エビスヤ自轉車店

平南町 電話六六四番

氷は魚清!!!

氷の御用命は

電話四六七番へ

平町二丁目警察署通り

魚清氷卸部

江名町築港内

支店 江名販賣所

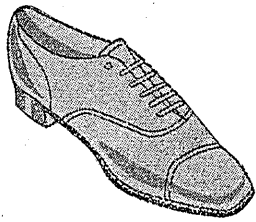
電話六九番

産科 院長 木村寅次郎
 婦人科 醫學博士 内木宗八
 外科 藥劑師 立番彌一

平町新川町十九

木村病院

電話一六四番



夏!!!

道歩く紳士の足もと
 は白靴にかゝやく!

A 先づ何よりも白靴
 B 成程暑さをかぶつて黒靴では
 ちよつと………へんだね
 断然安い菊地の白靴一九三四年型に
 すると云つてやつたがね
 四丁目驛通り

¥1.80ヨリ
 5.00マデ



既製菊地靴カバン店

電話六五九番

月曜是非

絶好のチャンス

来る廿三、四日開催される縣下中等學校野球大會は、郡下未曾有の催しであり、真にスポーツ界劃期的の壯舉とされて居る。此機に及んで吾人は此の催しの後援會長たる青沼町長に希望する處がある。

即ち後援會は當初より此の壯舉の成功を祈念して、日夜怠らず幹部協力大いに努めつゝある盡瘁振りに對しては吾人が滿腔の敬意を表するに當かでない、然れ共唯單に今回の舉措が催し達成の爲めのみ努力であつたとすれば、夫れは恰も線香花火の如きものでありお祭り騒ぎの境を脱しない吾人は左様な利那的結果に依つて能事終れりとすべからざる事欲する、苟くも後援會の犠牲的貢獻が大であれば大である程、その收獲の多きを望んで止まない、それには、今回の大會を好機として、地方人のスポーツに對する理解と興味に、よき刺戟を與へ、引いては大グラウンド建設の氣運を醸成したのである。

既報平町青年團主催第六回町民體育大會は昨十五日午前九時より第三校庭に於いて選手二百餘名が入場式に始まり南町分團より優勝旗を返還し國歌合唱、青沼町長の開會の辭に次いで永島審判長訓辭を述べ各競技に移り各分團の猛烈な奮闘振りに觀衆の血を躍らしたのが優勝旗争奪戦である八百米リレーは新川町チームが一分五十五秒四の成績で本年度優勝旗を獲得、東西對抗綱引は城山、長橋、胡摩澤研古、紺屋町、田町、二丁目、三丁目、搔籠小路、各分團代表の西組が東組を破り午後五時會長の發聲で萬歳三唱閉會した因に各種競技一等入賞者左の如くである

- ▽一部(百米)新川町鈴木泰久 研町大瀧彌次郎 十七區鈴木主郎 研古櫻山信男 田町佐藤正男 (鱈つかみ)白銀長谷川三郎 胡摩澤伊藤正雄(二百米)十七區坂本一二 廿八區齋藤昇 鎌田酒井貢 四丁目猪狩正治(八百米)...

果の結ばれん事を切望の餘り、特に青沼會長に、此の際グラウンド建設の覺悟と信念を固められん事を希求して止まぬ次第である。

躍る若人!

昨日の町民大會

一等入賞者の氏名

- ン食競争)田町佐藤正雄 四丁目猪狩正治(自轉車おと乗競争)紺屋町水竹伊助 三丁目岡崎保(走巾跳)研古金成龜太郎(走高跳)花澤保夫(砲丸投)才樋小路片寄弘伸

木炭倉庫の建設

山間方部の村長等陳情

本炭金融施設を好機に

農業倉庫法の改正により米藪等の外に新に木炭も金融の擔保條件たり得ることに改革されたのを好機として從來製炭をその主要産業として

疲弊の極に喘いでゐる

石城山間方部地では十七日午前十時から山間方部町村長會を開き年一萬俵以上を生産する村の渡邊、山田、川部、田人外三ヶ村

中等野球に

炭礦側寄附

磐炭、入山、古河の三大炭礦では昨日縣下中等野球大會協議會に對し二百圓の寄附を申し出た、尙ほ小田炭礦では二十五圓、萩原炭礦では二十圓を寄附した

列車時刻

改正打合

平驛代表出發

東京鐵道局では来る十二月一日を期しての列車運轉時刻改正に對する打合せ會を十七、八兩日熊谷市公會堂で開くので平驛からはけふ友部運轉係が代表して出席した

津田校長調査

平第二小學校では本月第一學期學力調査の爲め津田校長提出の算術及び國語を課した

生産改良

組合に對し

低資融通方を陳情書により

縣當局に嘆願することになつた

珠算選手

第一校で物色

平第一小學校では本月廿六日午後一時より高等二年教室で兒童の珠算競技會を開催するが出場選手は五年以

石城女教員會役員

昨日の總會で改選決定

會長は蛭田先生

既報石城女教員會總會は去る十四日午後二時より平第二小學校に開會役員改選の結果左の如く決定した

山口教諭渡臺

磐女教諭山口彌一郎氏は沖繩及び臺灣等に於ける炭礦地帯地質調査の爲め學校の夏休を待つて出發する由

古河平鐵弓道

古河炭礦對平鐵道俱樂部弓道戦は二十二日午前九時から古河炭礦テニスコート隣設弓道場で舉行する

入山水鐵野球

水戸鐵道運輸事務所對入山炭礦野球戦は十五日午後二時から湯本町營球場で舉行五對四で水鐵辛勝す

平町に催す

石城體育會支部では此程協議會を開いた結果郡下小學教員の夏期體育施設として來月廿八日より三日間平第一小學校に體育講習會を催すが講師は東京府立第五中

磐中野球對戰

磐中

野球部では昨日午後一時より水鐵軍と對戦七對三で敗れたが引續き磐炭軍と對戦十一對二で大勝した

平商野球後援

平商野球後援會では本日午後四時より母校會議室に於て役員會を開き會則制定其他の件に就いて種々協議した

平町人事

- △出 生 △鎌田町三五 鈴木定一氏 五女都子さん △材木町三六 白土泰藏氏 四女スミ子さん △長橋町二 川村和多利七 五男利和さん

平町人事

- △死 亡 △四丁目三三 小林勇氏 (三三) △二丁目一三 當時水戸市 向井町一八四六 鈴木セ ンさん(六七)

平職業紹介所報告

- △人を求める方 △男女保險外務員(各五名 宛)五十才以下 三十才迄 高卒 個定給廿圓外歩合 △農夫 二十一 三十才 月七圓 十圓 無學でも可 △三助 三十才以下 月四 五圓 外面談 △商店雜役 二十才位 尋 卒 年七、八十圓 回 職を求めめる方 △外交員 二十八才 中卒 △トラック助手 二十才 高卒 △炊事婦 三十一才 高卒 △外務員 五十八才 無學 △鐵工 十九才 尋卒

銀行を襲撃

犯人石城へ 左翼團首領等

平署の動員演習

十四日午後平署内はただならぬ慌しい動きを見せて横山署長以下

湯本方面に自動車をついで飛ぶ物々しい気配を呈し居たが俄然午後十時卅五分左の想定に基き管内巡査總動員の非常召集が斷行された

(想定)一昨夜東京市内某銀行を襲撃せる左翼團首領一味は巧みに警視廳の捜査網を脱し今夕石城地方に入込みたり、署長は全員を總動員し是れが捜査檢擧に努力すべし

捜査本部は湯本消防屯所に置き横山署長以下幹部の面々待つ間程なく

第一着に 入山八仙請願の菊地作次郎巡査が息せき切つて捜査本部に轉げ込む、時正に午後十一時二分同巡査が命令の電話を受けたのが午後十時五十六分であるから前後僅か

六分間に して命令通り制服を携へ私服變裝して駆付けた敏捷さ！是れには流石の一同も吃驚、斯くて續々踵を接して走せ參じ三坂澤渡を殿りに二時間十五分にして一名も洩れなく參

點檢教練」を済し午前十一時頃から山形屋旅館に於いて横山署長の挨拶、井上平消防組頭の謝辭等あつて慰勞の宴を張り趣向を凝らした署員の隠し藝披露に來賓一同頷ひを解いて大満悦、署員も日頃の勞苦をサラリと一掃、興趣は仲々盡きなかつた

平署の動員演習

集、午前零時半からは平町内郷、湯本一圓に互に變裝の儘 夫々張込みと密行に活躍したが湯本の舉動不審一名、平町の無銭宿泊一名の外目星しい捕り者なく午前四時半無事平署に演習を終り湯本グラウンに於いて

花街の裡で 變態犯捕る

前科三犯の若者

夏休期實習の爲昨十五日來郡小林平土木監督所長の幹旋で明日より約四十日間巨り目下改修工事中である大浦村仁井田川の河川測量を實習すると

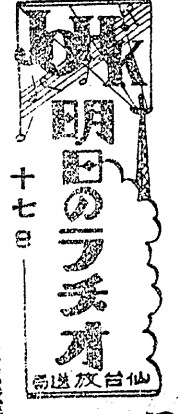
當時住所不定内郷村高坂生れ強盜前科三犯草野儀市(三)は昨十五日午後九時頃平町新田町裏川岸の暗闇地内で遊戯中の同町某藝妓置屋の幼女某(六)一特に匿名を捕へて一錢を與へ真裸にして變態的エロ行為に悦に入つてゐたのを巡中の平署員が発見逃走せんとするを追跡逮捕餘罪ある見込みで目下嚴重取調中

木賃宿泣かせ

當時住所不定ルンペン岩手縣江卷郡米野村生れ佐藤喬(三)は去る十一日から十四日まで平町正月町六木賃宿大越屋方に宿泊十五日宿料一圓五十錢を踏倒して逃走

日大學生實習

日本大學工學部土木科生二名は



今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 名作物語(二)東京放送童話研究會

後六、二五 基礎佛語講座 (29)丸山順太郎

後七、三〇 講演「外交戰に於ける日本の地位について」田中郡吉

後八、〇〇 常磐津三東勢 調浄るり 常磐津三東勢 大夫外

後八、二五 哥澤 うち水

喧嘩賣りの 大工に懲役求刑

東京市荒川區尾久町二丁目七大工職高藤吉(三)及び王子區下十條大工石塚茂次郎(三)の兩名が去月卅日小名濱町上町地内道路で些細の事から通り合した竹町根本金之助(五)に喧嘩を吹掛けた同人の前額部其他に全治一ヶ月を要する裂傷を負はした傷害事件は本日平區裁判所法廷に於いて中島監督判事係り吉岡檢事立會のものに公判開廷檢事より高藤は八ヶ月石塚は二ヶ月の懲役を求刑あつたが言渡しは來る廿日である

釣師の殺到に 大鯉逃げ廻る

涼氣に祟られて不漁 昨日からの釣魚大會

太公望連から多大の興味を衆めた松ヶ岡公園辨天池大鯉釣會第一日の昨十五日は會費二圓五十錢といふ高額のにも拘らず人氣を呼んで參

會者三十名我こそはとばか折角の浮標と睨めつことも胸ぶるの涼氣に厄されてか大鯉ども寄り付かず三丁目の佐々木熊吉さんが二尺

前七、二〇 聖典講義「菜根譚講話」(二)加藤時堂

前九、一〇 料理献立 トマトサラダ 吉田女學校 發表

前一〇、三〇 母の講座 「學齡期の子供の心理學 院教授今田恵 關西學 院教授今田恵

後〇、〇五 尺八獨奏 夕雲の調子塚山 二部合奏 湖南の暮 平塚悦山社

後〇、二五 小唄 ほうじ茶雷門福助

後一、〇〇 全國高專校野球大會 關東北北海道豫選仙臺スポーツマン球場より中繼

後二、〇〇 婦人講座「忘却の山」宮崎多嘉恵

後六、〇〇 子供の時間 名作物語 印度の童話 「貧者の一燈」 安部季維

後六、二五 家庭マツサリ 講座 (第五講) 岡見章

後七、三〇 醫學者及藥學者の疾病豫防及治療への貢獻に就て 醫博小澤修造

後八、〇〇 ギャイオリン 獨奏 ファウスト幻想曲 ニコライシフェルブラッ

後八、二〇 俚諺峰村利子 外

後八、四〇 義太夫 傾城 戀飛脚 新口村の段 禪語り竹本小仙

女中さん郷愁

湯本町字三函材木商矢吹佐市方女中山形縣東置賜郡東根町生れ元木静江(三)は郷愁を起し父母の顔見たさに十五日午後十時頃家出し磐越線で歸郷の途次、郡山驛に着いた處を平署の手配により捕はれた旨同署に通牒あつた

主家の自轉車で スピード道行さ

石城に潜伏營業か?

てゐるらしいからと前記雇主阿部から平署に搜索方を願出た

農業經營見學 好問村北好問實行組合員二十餘名は志田同村農會技術員に引率され來る十八日草野村の精農家高木誠一氏の農業經營を見學する

浮名師匠の比喩

(藤野野矢上及上巻)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

八四

師匠の嬉し涙(一)
さうして置いて五郎藏を
毎日長兵衛が家へ呼んで剣
術を教へ柔道を教へ

『相撲は御大名方のお慰み
になるもんだから、お茶の
吞方位知らなさいやならん』
と、茶の湯を習はせ手紙
を一本書く位の事も出来な
ければ不可んと、手習ひも
させる、實に行き届かん所
はありませぬ。阿母は大家
の御隠居のやうになり、五
郎藏も甘いものを食べて日
々身體を使つてから肥つ
て来る、イヤ櫻川親子は長
兵衛を神の様に思つてをり
ます。

人といふものは、姓来ど
んな愛嬌のある人でも、貧
乏をしてあると愛嬌が失な
つてしまふもの、櫻川も長
兵衛の世話になつてからは
心が悠然として、誰が見て
も先の櫻川とは見えない位
知らぬ者は長兵衛さんの
弟だらうと噂をする位まで
雲早戸はかくとは知らず愈
々樂となつて江戸表へ何時
に乗り込むと云ふ手紙が参
りました、櫻川が

『さて元締さん親方さんが
愈々歸つて参ります、何卒
出迎ひをしたいと思います居
りますが』

『オ、そりやア親方が悦ぶ
だらう、俺は生憎行かれな
いが皆んなに品川邊りまで
出迎ひに行つて貰つてやら
う』
とそこでデックリ清兵衛
夢の市郎兵衛、腕の喜三郎
白鬼権三など、いふ連中と

『親方』
『雲早戸の親分』



共に、櫻川五郎藏は高輪ま
で来ると今ではないがブラ
リ料理屋が並んで居ります
そこへ這入つて大勢酒を飲
んで居りますと、東海道を
下つて来た關取衆、十兩以
下は馬に乗る事が出来ない

云はれてヒヨイと顔を揚
げて見ると幡隨院の名高い
子分がズラリと居並んで居
ますから、馬より飛び降り
て笠をとつてこれは下谷の
元締の様方でございますか
知らんこと、云ひながら

雲早戸は多くの關取と共に
馬に乗つて、加賀の三番笠
を被つて背割羽織を着て木
綿の紋付に布子を着て、立
付で脇差を一本差してコク
リ、居眠りをしながら遣
つて来ました。
『エ、皆さん親方さんが来
ましたによつてちよつと何
卒……』
と云ふから皆一同
『オ、さうか』
と二階を降りて家の前へ
一文字に並んで

恐れ入ります、大層お揃ひ
で大師様へでも御参詣で
ございますか、荒神様へでも
御詣りに入らつしやいまし
たか』
『イヤ今日親方が乗込んで
来ると云ふんで、元締の差
圖でお前さんを迎ひに来ま
した』
『御冗談を仰しやつてくだ
さいましては困ります』
『全く出迎ひに来たんで
コレ、關取に挨拶をしねえ
か』

櫻川前に進んで
『親分お歸んなさいまし』
『ハイ』
『お内儀さんも皆さんも御
壯健でございますから御安
心を願ひます、私のために
皆さんが出迎ひに来て下さ
つたんでございますから何
卒皆さんに御禮を仰しやつ
て下さいまし』
『ハイ貴方は……誰方で』
『親方さんは私をお見忘れ
でございますか』
『ハイ、年を取つたもんで
すから遂何うも御見忘れ申
ました』

毎度御引立を載いでゐる
藤寅では例年通り
冷たい美味しい飲物
アイスクリーム アツキアイス
ミルクセーキ ソーダ水
その他氷水各種
相初めました是非……夏の夕の御散
歩歸へりに御立寄り下さい
平一丁目

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

市原醫院
平町田町
電話一四四番

新 鯉節賞品

魚問屋

店理代平命生本日大最優最
榮 盛 賀 志
(三一電)目丁四平

懸賞寫眞大募集

ラメカSM
七月二十日
七月二十一日弊店々頭
発表
品 賞
一等 銀カッパ 一人
二等 木製三脚 一人
三等 アルバム 三人
以下五等迄
奮つて多数応募下さい。
詳細規定書は弊店より差し上げます。

風薫る青葉の初夏!
水郷を訪ねて
散歩に……
旅行に……
スバラシク長く寫るMSカメラ

平 驛 前
部ラメカやみづい

米國製刺皮膚病良藥

レメドール
子宮あたりのめぐすり
宮 温 湯
丹波博士創製セキドメ
たんぼあめ
靈藥ムテキ
平町古銀治町一〇

阿康藥舖

縣社ノ下 電話四四番

ハタケ、ヤケド、キリキ
ズ、タムシ
子宮病、根切藥、下腹や
腰の痛みをなほす事妙な
うまくてセキカヨクトマ
ル
ユビハレ、ヤケド、キリ
キズ、淋病、梅毒、乳ハ
レ、すべて化膿したもの
を切らずに癒る

不寐寘

出前 迅速
電話一四一四番